

ハイハマボスの新たな産地および生育環境について

札幌市 山崎 真実

はじめに

ハイハマボス *Samolus parviflorus* Raf. はサクラソウ科の多年草で、北半球に広く分布する。日本では海岸付近の湿地や山地の池沼の岸边、溪流の河畔に生育し、主に北海道南西部から本州日本海側に分布する(滝田 2001, 矢原 2003, 梅林ほか 2006, 梅沢 2007, 大橋ほか 2017)。全国的に減少傾向にある植物で、環境省および北海

道のレッドデータブック、札幌市版レッドリストでそれぞれ準絶滅危惧(環境省 2015)、絶滅危急種(北海道環境生活部 2001)、情報不足(札幌市環境局 2016)とされている。

ハイハマボスの過去の標本を調査したところ、札幌市内および近隣の平野部と定山溪などでの記録があった(表 1)。このうち、現在まで継続して確認されている

表 1 ハイハマボスの過去の標本(年代順)

採集地 *1	採集年月日	収蔵標本庫 *2	標本番号	引用されている文献
定山溪	1880 年 7 月	SAPS	SAPS012607	館脇 (1930)
銭函	1881 年 7 月	SAPS	SAPS012605	
豊平川畔	1887 年 7 月 23 日	SAPS	SAPS012609	
札幌、植物園(植栽)	1893 年 7 月	SAPS		
豊平川邊	1894 年 8 月	SAPS	SAPS012608	館脇 (1930)
札幌	1894 年 8 月	SAPS		館脇 (1930)
札幌郡白石村	1903 年 9 月 3 日	SAPS	SAPS012606	
北海道上磯郡上磯町	1931 年 7 月 18 日	市立函館博物館	8058	市立函館博物館 (1997)
琴似村札沼線沿線(南側)	1935 年 7 月 1 日	小樽市総合博物館	001171	山本(編) (2003)
野幌原生林	1942 年 9 月 2 日	小樽市総合博物館		
石狩町	1959 年 9 月 1 日	小樽市総合博物館	001048	
北海道倶知安町半月湖畔	1951 年 9 月 24 日	倶知安風土館		有路ほか (2011)
北海道倶知安町半月湖畔	1954 年 9 月 5 日	倶知安風土館		有路ほか (2011)
北海道後志支庁ニセコ町	1981 年 7 月 19 日	SAPS	SAPS012612	
札幌市定山溪、白井二股-熊の沢、標高約 400m	1981 年 7 月 26 日	SAPS	SAPS012611	
札幌市厚別区小野幌	1985 年 8 月 2 日	SAPS	SAPS012615	
札幌市北区茨戸	1986 年 7 月 30 日	SAPS	SAPS012614	
札幌市茨戸	1987 年 7 月 6 日	SAPS	SAPS012613	
札幌市野幌森林公園	2002 年 7 月 3 日	SAPS	SAPS012610	
北海道江別市下学田 道立自然公園野幌森林公園、 大沢貯水池	2003 年 8 月 4 日	札幌市博物館活動センター、 北海道博物館、SAPT	APN03-22	
札幌市白石区北郷、 民家の庭、湿った所	2005 年	SAPS	SAPS012616	
北海道江別市下学田 道立自然公園野幌森林公園、 大沢貯水池	2016 年 6 月 30 日	札幌市博物館活動センター		

*1 採集地の表記は、原則として確認したラベルまたは目録のまま記した。

*2 SAPS:北海道大学総合博物館陸上植物標本庫の略号。SAPT:北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園植物標本庫の略号。